

日本看護歴史学会 会報

日本看護歴史学会
第3号
1988年6月30日

第二回大会開催の御案内

山本捷子

昨夏、暑い京都で日本看護歴史学会の設立総会を迎えてから、早や一年近くが経ちました。この一年間、皆さまには「看護歴史」にどのような向いあってお過しでしたでしょうか。

本会の一年間は、「近代看護婦発祥一〇〇年」をどのように迎えるかと、その準備に終始しました。誕生したばかりの本会には大きな行事を行う経済的・人的基盤が弱く、さまざまな困難があり危ぶむ声もありました。しかし「一八八八年から百年目は今年しかない」という、歴史研究者には躊躇できない強い信念と精力的な働きにより、また賛同された多くの方々の御好意に支えられて、「看護婦一〇〇年のあゆみ写真展」

を開催することになりました。六月～七月に京都で、八月東京で、九月名古屋での開催が決定しております。是非お誘い合せて御覧下さい。

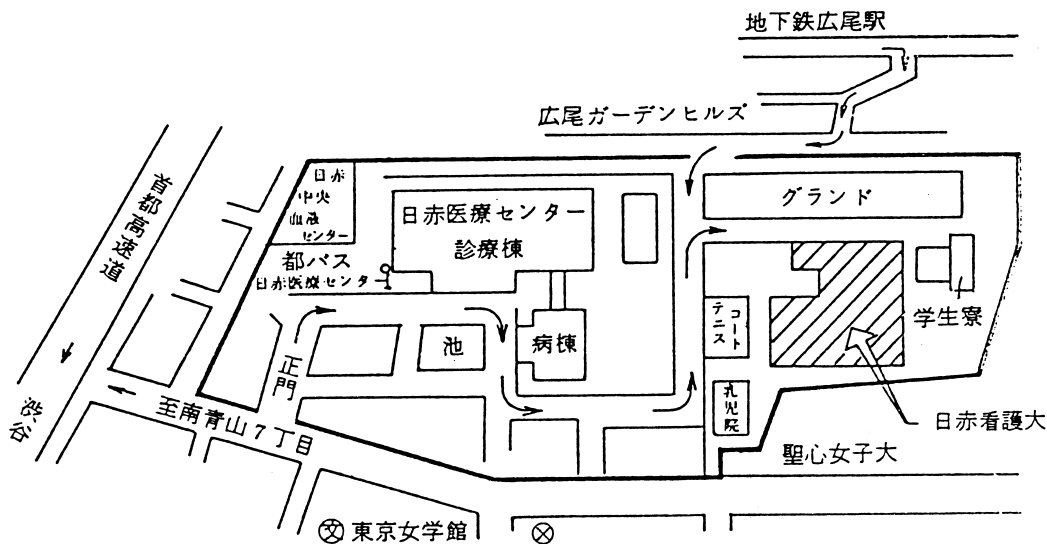
記念の美しいテレホンカードも作りしました。

本会の第二回大会は、近代看護婦発祥一〇〇年記念行事の一環として、次の通り開催いたします。特に記念講演は、看護婦の歴史的背景として関連深い女子教育史の立場から、興味深いお話がうかがえるものと思えます。

研究報告は本年度より公募にいたしております。日頃の研究成果を発表して頂く場として、今後の応募をお考え下さい。

シンポジウムは、身近な現代史

〈日本赤十字看護大学 案内図〉



- JR渋谷駅より都バス(学03)
日本赤十字社医療センター行
終点下車
- JR恵比寿駅より都バス(学06)
日本赤十字社医療センター行
終点下車
- 地下鉄広尾駅六本木寄り口下車
徒歩10分

を、自分が見たこと体験したこと
をどのように客観的に捉え得るか、
制度・教育・管理の面から三人の
方のディスカッションがどのよう
に絡みあうか、試みのシンポジウ
ムです。
盛夏の折ですが、多くの方々の
御参加を期待しております。

日本看護歴史学会 第二回大会開催日程

会期 8月20日(土) 8月21日(日)
会場 日本赤十字看護大学講堂

「同時代史としての戦後の看護を語る」
司会 山本捷子

第一日(8月20日)

13時～ 受付開始

13時30分～ 開会

13時45分～14時45分 記念講演

「女子教育史の視点から看護教育を考える」

群馬県立女子大学教授 村田鈴子氏

15時～16時 研究報告

司会 高橋みや子

(1) 赤十字博物館と保健衛生活動

飯島美代子氏

(2) 「高山盈の生涯」の研究過程について

吉川 龍子氏

16時～17時 総会

司会 氏家幸子

庶務・事業・決算報告・一九八八年度活動方針・予算審議

18時～20時 懇親会

第二日(8月21日)

9時30分～12時30分 分科会

13時30分～14時 分科会報告

看護制度の面から 都築 公氏

看護教育の面から 武藤美知氏

看護制度の面から 草刈淳子氏

15時30分 閉会

出席される場合は左記の事項に御留意ください。

(1) 会員証を必ず持参してください。ネームプレートになります。

(2) 大会参加費 三〇〇〇円

懇親会会費 三〇〇〇円

2日目の昼食 一〇〇〇円

(3) 出席の有無、参加希望の分科会名、懇親会参加の有無、二日目の昼食希望の有無を、できるだけ事前にハガキにて大会事務局までお知らせ下さい。

〒150 東京都渋谷区広尾四一―三
日赤看護大学

電話 〇三―四〇九―〇八七五

〒150 東京都渋谷区広尾四一―三

日赤看護大学内 山本研究室気付

日本看護歴史学会大会事務局

宛



第二回大会申込書

1. 会員番号

2. 氏名

3. 出席の有無

4. 参加希望の分科会名

5. 懇親会参加の有無

6. 二日目昼食希望の有無

※ 宿泊所の斡旋はしませんが、御希望の方は会場近くのホテル等のリストをお送りしますので、その旨、書き添えて下さい。

看護の専門語を完全収録

看護学大辞典・第二版

沖中重雄監…A5判/三〇〇〇円

保健医療の現場で働く方々に必携の書として高い評価を得てきた「看護学大辞典」の全面改訂版。

いよいよ三月に刊行!

今回の改訂で収録語彙は三万語に。もちろん、看護史に関する語彙もさらに充実。

生きている言葉を徹底収録した本書を是非あなたの座右に。

新入会員紹介

○ 狩谷明美 〒590 堺市大仙町一

○ 大阪府立白菊高校

○ 坂田美喜子 関西看護専門学校

○ 喜多智子 大阪城南女子短大

(非常勤)

○ 佐藤喜根子 〒980 仙台市星陵

町一―一 東北大学医学部附属

病院分婉室

○ 小山田信子 〒980 仙台市星陵

町二―一 東北大学医療技術短

大

○ 中嶋八重子 〒699 兵庫県

城崎郡日高町羽尻

○ 内藤寿喜子 〒162 東京都新宿

区信濃町三五 慶応義塾看護短

大

○ 加納尚美 〒277 千葉県柏市根

中四〇八

(六月二〇日 現在)



私のステップ・バイ・ステップ

照屋寛著…A5判/三〇〇〇円

株式会社メヂカルフレンド社

東京都千代田区九段北三丁目二番四号

〒一〇二 〇〇三(二六三) 七六六六

近代看護婦発祥百年記念

「看護婦百年のあゆみ写真展」

京都での開催はじまる

すでにお伝えしたように、本会では日本に近代的看護婦が誕生してから百年目にあたる今年、記念行事として写真展を開催し、広く一般に看護婦の歴史を知って頂く準備を進めてまいりました。

その結果、多くの会員外の方々からも賛同を得ることができ、去る六月二日から京都での開催にこぎつけました。

看護史上の主要な出来事を、女性史の視点を交えながら、四一点のパネルに編集しております。開催地は次のとおりですので、お近くの方はぜひ御覧下さい。また、知人・友人の方々にもお知らせ下さるようお願いいたします。

△京都
6月22日～7月28日
京都市地下鉄御池駅ギャラリ
(社団法人京都府看護協会共催/
京都府・京都市後援)
JR京都駅または阪急四条烏丸駅より地下鉄乗り換え、御池駅下車

写真展開催のための 寄付状況

洲脇 絢子

近代看護婦発祥百年を記念し、「看護婦百年のあゆみ写真展」開催のための御寄付を皆様方に募りましたところ、六月十六日現在で五十万六千二百三円の御寄付がありました。皆様方の御厚意に感謝し、心よりお礼申し上げます。

今後、東京会場および名古屋会場までの搬送料等が、あと二十万円程度かかりそうですので、当初の目標額以上に資金を必要とします。引き続き御協力のほどよろしくお願い申し上げます。

寄付者名(敬称略・順不同)

- 団体
- 五万円 日本カトリック看護協会
- 三万五千二百三円 京都市立病院
- 有志一同
- 三万円 真興交易医書出版部
- へるす出版
- 五千元 京都市立看護短期大学
- かね同窓会
- 本会会員
- 三万円 高田節子 福本 恵 洲脇 絢子
- 二万円 高橋みや子 亀山美知子

- 一万円 村山惟子 大平政子 小栗克子 藤村龍子 ライダー 島崎玲子
- 五千元 吉川龍子 鶴沢陽子 宗像麗子 草刈淳子
- 三千元 花島具子
- 二千元 木村秀昭 伊賀重子 花岡真佐子 菅原スミ
- 千円 豊田淑恵 朝倉あつ子 山本京子 川中絢子 三根 哲子 宮田茂子
- 一般
- 一万円 小林 博 新保慎一郎 見藤隆子 野口美和子 谷口尚樹 前原澄子
- 五千元 井崎やえ子 藤澤みほ子 山本行隆 和泉春美 村上愛子 矢野エツ子 谷下久子 安濃保能 四方貞子 村上静子 福田 正宏
- 三千円 岸 正 兼松百合子
- 二千円 山下正子 勝俣京子 白井節子
- 千円 池上順子 永田 瑞 奥田 八重子 菊 井 川本昌子 西田直子 今川悦子 宇戸口和子 船橋邦子 田嶋陽子 溝口明代 井上輝子

分科会と分科会

活動について

分科会担当 高橋みや子

第一回大会の時、一四の分科会が誕生しました。

分科会や分科会活動には様々な開き方ややり方があると思います。

分科会や分科会活動は、専門領域を分科して、研究内容を深めて行く事で、研究者同志の情報交換をする上で、重要な役割を持っています。

看護関係の多くの学会では、専門分科された分科会の数が少ない上に、会員数の多いこともありマシモス化し、分科会は単なる短時間の研究発表の場となっています。まして、日常的分科会活動や研究会とは直結しない事が多くなっています。

一方、文科系の学会では学問の性格上、分科会は、研究発表と意見交換に多くの時間を割き、発表者・参加者双方にとって実あるものとなっています。分科会活動や研究会も重視しています。

本学会は文科系で、研究者もまだ少ない新しい領域の学会です。そのため、看護関係の従来の方法とは異なつた、独自の分科会と分

科会活動を模索しなければなりません。

幸いなことに、本学会の会員数は二百名弱と少なく、全会員が看護歴史に強い関心を抱いています。このことが、新しい分科会と分科会活動を推進する力となると信じております。

次に、本学会の分科会と分科会活動の進め方について述べます。

分科会活動は、先ず自分の関心分野を明確にする事から始まり、関心分野が明確になりしだい、既存の分科会に入ります。もし、該当する分科会がなければ新たに分科会を結成し、代表者を決めます。その後は、代表者を中心に学習や研究活動を行い、できれば大会時に、その成果を研究報告会か分科会で発表します。

また、分科会とは別個に、地区毎に研究会活動を行う事も推奨したいと考えています。

大会時の各分科会は、分科会のメンバーが自主的に企画します。内容は、研究発表か話題提供を行い、それを素材として討議・意見交換や情報交換を行う等々です。

以上のように、会員の主体的・自主的な学習と研究活動が中心となります。会員が自ら作りあげて行く分科会であり、分科会活動な

のです。

本年度は、意思表示の有為にかかわらず、全ての分科会を開く予定です。

現在、内容が決定している分科会は次の通りです。

GHQⅡ研究発表者、ライダー 島崎玲子氏

臨床看護史Ⅱ研究発表者、大西 雅子氏 司会、鶴沢陽子氏

助産・助産婦の歴史Ⅱ研究発表者、小野清美氏

今後、内容が決定した分科会の代表者、あるいは研究発表、話題提供を希望する方は、分科会担当（高橋）まで御連絡下さい。

オリジナル・テレホン

カードができました

近代看護婦発祥百年を記念して本会では写真のようなオリジナルテレホンカード（50度数 八百円）を作成しました。カードの真中には百年前桜井女学校を卒業した看護婦生徒たちの写真をあしらっています。デザインは、京都在任のアーティスト藤美津子さん。

第二回大会々場でも販売しますが、郵送御希望の方は、返信用封筒（4枚まで60円、9枚まで70円）に切手を貼って、京都市立看護短大亀山までお申込み下さい。



日本看護歴史学会会報第三号

編集・発行責任者

〒604 京都市中京区壬生東高田町1の2 都市立看護短大内

亀山美知子・洲脇絢子

頒価 二百円

日本看護歴史学会事務局

〒675-01 加古川市平岡町新在家二三〇 兵庫女子短大 山崎雅代